

大阪大学蛋白質研究所セミナー

産業応用を志向するタンパク質溶液研究

日時:2017年9月11日(月)13時半~9月12日(火)15時

場所:大阪大学蛋白質研究所1階講堂

9月11日(月)

13:30-15:45 セッション1

「所長挨拶」

中村 春木(大阪大・蛋白研)

「はじめに」

白木 賢太郎(筑波大・数理物質系)

「pH 応答性凝集/可溶化タグ」

野中 孝裕(味の素(株)・バイオファイン研究所)

「異種タンパク質の協同的な熱凝集」

岩下 和輝(筑波大・数理物質科学研究科)

「熱測定と光散乱測定によるアモルファス凝集の解析」

早乙女 友規(東京農工大・工学研究院)

「ラクダ科動物由来 VHH 抗体の耐熱性の改良」

赤澤 陽子(産総研・バイオメディカル研究部門)

16:00-18:00 セッション2

「タンパク質工学によるバイオマテリアルの創出:基礎研究から応用へ ~From 2D protein materials to Spider silk~」

鈴木 雄太(元 UCSD(University of California, San Diego))

「カーボンナノチューブと蛋白質の相互作用」

平野 篤(産総研・ナノ材料研究部門)

「沈殿濃縮法を利用した高濃度バイオ医薬品の調製」

栗之丸 隆章(産総研・バイオメディカル研究部門)

「界面活性剤によるタンパク質凝縮制御」

野島 達也(東工大・科学技術創成研究院)

9月12日(火)

9:30-11:30 セッション3

「計算機シミュレーションを用いた蛋白質・ペプチドの凝集性・溶解性の研究」 黒田 裕(東京農工大・工学研究院)

「アルカリや熱付加によって変性・凝集する毛髪内タンパク質の評価」 伊藤 廉((株)ミルボン)

「機械学習を用いた可溶性配列の予測」

廣瀬 修一(長瀬産業(株)・研究開発部)

「大気圧低温プラズマの医療応用」

北野 勝久(大阪大・アトミックデザイン研究センター)

12:30-14:00 セッション4

「非特異的な相互作用を活用する一タンパク質の特徴パターンを出力できる分子群による生体試料メトリクス」

富田 峻介(産総研・バイオメディカル研究部門)

「抗体医薬の凝集体定量と抑制方法」

内山 進(大阪大・工学研究科)

「蛋白質研究の歴史における凝集の位置づけと展望」

後藤 祐児(大阪大・蛋白研)

14:10-14:50 セッション5

「ラウンドテーブル」

後藤 祐児(大阪大・蛋白研)

世話人:白木 賢太郎(筑波大)、黒田 裕(東京農工大)、後藤 祐児(阪大)

連絡先:後藤祐児 〒565-0871 吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所

Tel:06-6879-8614 Fax:06-6879-8616 E-mail: gtyj8126@protein.osaka-u.ac.jp

プログラムの詳細 <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>

参加費: 無料・事前登録不要